

栗駒山の火山活動解説資料（平成 23 年 5 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

大柳（山頂の南東約 20km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3～4）

栗駒山を震源とする火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山の近傍では、2008 年 6 月 14 日に発生した「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」（M7.2）の余震活動が続いています。

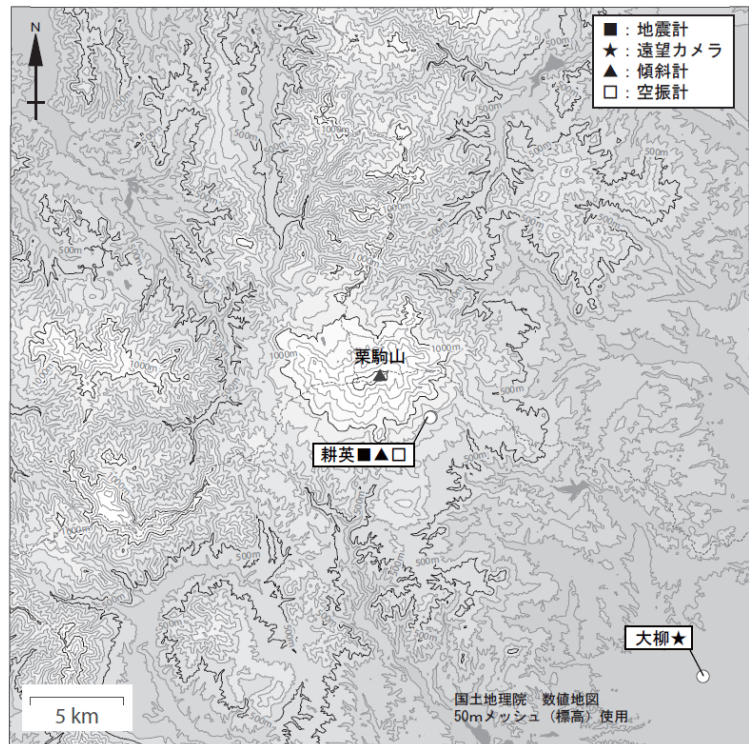


図 1 栗駒山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 6 月分）は平成 23 年 7 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図2 栗駒山 遠望カメラの映像（5月18日09時00分頃）
大柳（山頂の南東約20km）に設置してある遠望カメラによる。

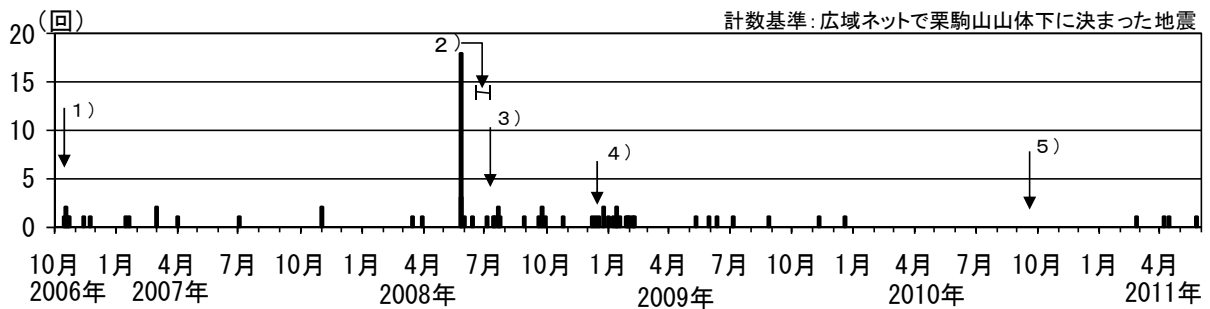


図3※ 栗駒山 日別地震回数（2006年10月～2011年5月）

- 1) 2006年10月12日から旧耕英観測点（山頂から南東約4km）で観測開始。
- 2) 2008年6月14日から7月2日18時まで「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能となっていました。
- 3) 2008年7月2日18時から小安（おやす）観測点（山頂から北西約10km）で監視を開始。
- 4) 2008年12月4日から旧耕英観測点が観測再開。
- 5) 2010年9月1日から耕英観測点（山頂から南東約4km、旧耕英観測点とほぼ同じ場所）で観測開始。

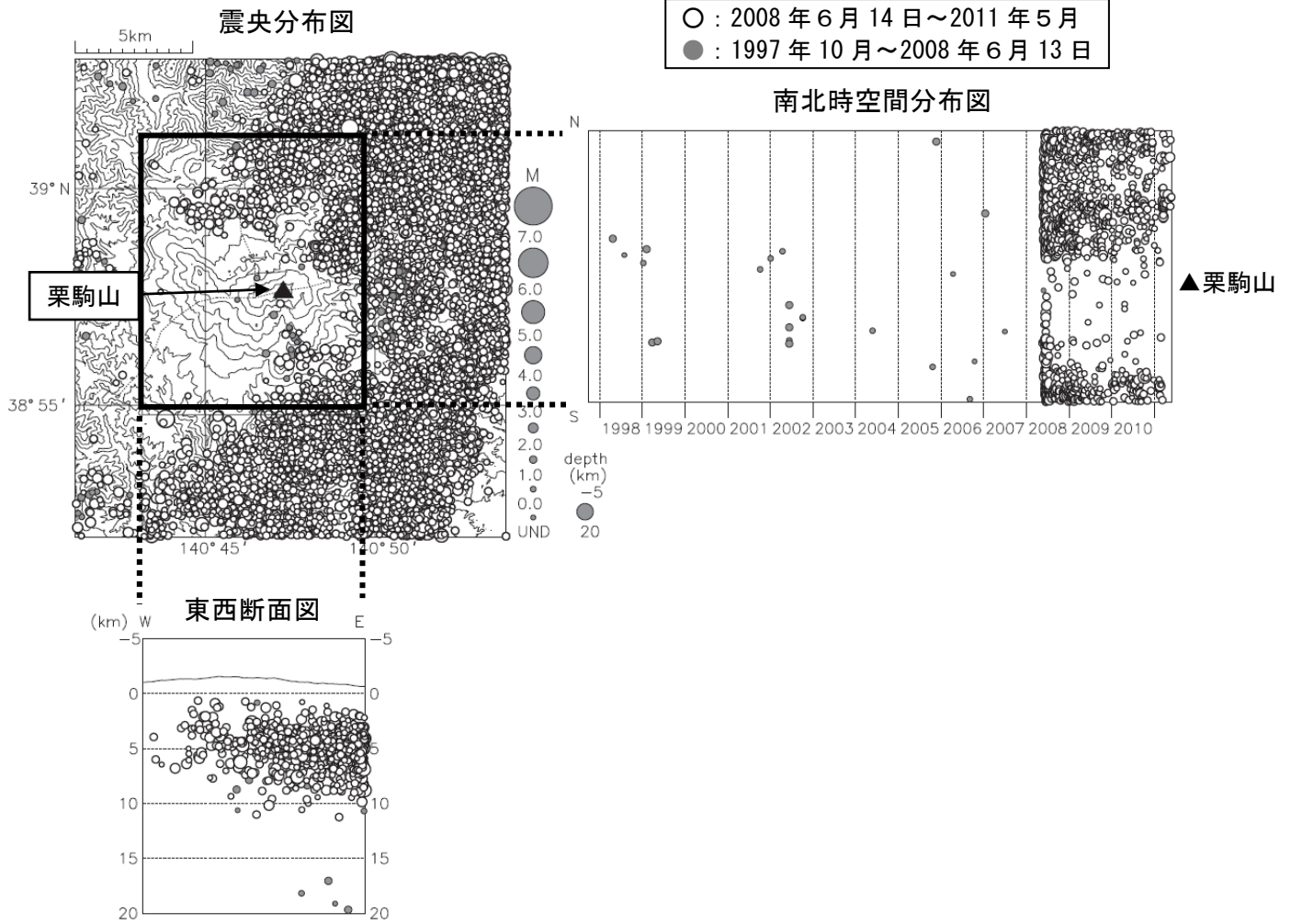


図 4※ 栗駒山周辺の地震活動（1997 年 10 月～2011 年 5 月）

注）2011 年 10 月以降、検知能力が向上しています。

M（マグニチュード）は地震の規模を示します。

図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。

2011 年 3 月 11 日以降、一部未処理の期間があります。